



松下廣先生のお店

酒肴温石 五合 ●しゅうおんじやくごう

聖光学院を卒業後、お世話になった恩師とのかかわり方にはいろいろな形がある。

同窓会などで恩師を主賓に酒を酌み交わすことが一般的だが、反対に、お世話

になった恩師が、卒業生に「おもてなし」をしなくてはならないのはあまりみかけないのではなからうか。

お店は野毛の「柳通り」にあり、一階の入口には「五合」の木彫りの看板が掲げられている。これは15期の卒業生が作ったものだ。

お店がオープン後まもなく、現社会科の先生たちで開店のお祝いが行われた。店内には社会科一同から贈られたレトロな掛け時計が

時を刻んでいる。今では、多くの卒業生が訪れ、学生時代の懐かしい話を「肴」に盛り上がる。料理はすべて手作りなので

古城 光秋 (ふるぎ・みつあき) 昭和23年9月8日生 平成6年4月1日(国語科教諭)

吉富 孝道 (よしとみ・たかみち) 昭和23年7月16日生 昭和47年4月1日(理科教諭)

和田 幸芳 (わだ・ゆきよし) 昭和23年6月21日生 昭和50年4月1日(平成26年3月31日(芸術・家庭・情報科非常勤教諭))



「お店を開く」を夢見ながら、野毛の街を歩く中で、ある日、卒業生が所有する建物の1階が空く情報を聞きつけた先生は、真っ先にその卒業生に連絡をとったという。

お店の名前は「五合」。武家の時代、下級武士は給料として1日「五合」の蔵までやり抜く」という精神を支えられてたゆまぬ努力を続け、国立大の後期試験まで気持ち途切れさせな

米を支給されていた。その下級武士がなんとか食べていける程度にお店をやってみて名前をつけたという。お店は野毛の「柳通り」にあり、一階の入口には「五合」の木彫りの看板が掲げられている。これは15期の卒業生が作ったものだ。

★酒肴温石「五合」 横浜市中区野毛町1-6 加賀美自動車ビル1階 ☎045-231-0944 17時30分～24時まで 営業日：毎週火・水・金・土曜日 (祝日を除く)



吉富 孝道 (よしとみ・たかみち) 昭和23年7月16日生 昭和47年4月1日(平成25年3月31日(理科教諭))

和田 幸芳 (わだ・ゆきよし) 昭和23年6月21日生 昭和50年4月1日(平成26年3月31日(芸術・家庭・情報科非常勤教諭))

抜きん出た51期生

平成26年度大学入試結果より

表に見えるように、好調な結果を残している例年と比べても抜きん出た大学入試結果を残した51期でした。高校1年の時の模擬試験の受験結果は必ずしも順風満帆とはいえないものでした。しかしそのことは生徒の持つ危機感としてはプラスに働き、また生徒に接する担任・担当の先生方が辛抱強く、要点を押さえた丁寧な指導にあたったこともあって、最後にはよい形で実を結んだようです。

効果はすぐに形になって表れるものではありませんが、生徒は学習にも前向きに取り組む、たとえば定期試験についてもただ受けるだけ受けて後は知らないという姿勢でなく、早期にしっかりと見直し、解き直し

を最大限に活かすことができるようになりました。また、もともと生徒数の多い51期でしたが、ザビエルセンターの自習室利用者も非常に多く、学校の授業を中心に置いた学習を自分のペースですっかり進められるようになりました。

高3も後半になると、そうした取り組みが実を結び、模擬試験の結果も次第によいものになってきました。センター試験では国語の古文で『源氏物語』が出題されるなどして平均点が昨年度以上に下がり、全国的に見ても思ったように得点できなかった受験生も多い中、51期生は、諸活動などを通じて培ってきた「最後

までやり抜く」という精神を支えられてたゆまぬ努力を続け、国立大の後期試験まで気持ち途切れさせない、最後まであきらめない受験へとつなげることができました。

過去5年間主要大学合格者数 (現役+浪人)

		26年度 51期生	25年度 50期生	24年度 49期生	23年度 48期生	22年度 47期生
国公立	東大	71	62	65	60	65
	一橋大	13	13	19	10	25
	東工大	12	17	14	21	18
	国公立医大	25	19	27	15	25
	国公立合計	161	144	153	138	158
私立	慶応	128	135	138	135	169
	早稲田	156	178	168	142	189
	私立大合計	501	535	485	467	603
	現役進学率%	72	78	73	71	77

クラブ表彰 (平成25年～平成26年)

硬式テニス部	横浜地区中学校1年生テニス大会 準優勝	
囲碁将棋部	第17回 神奈川県小中学校将棋大会 王位戦の部 優勝	中1 藤井 崇史 中3 高良 拓馬 中3 奥 龍一郎
	第17回 神奈川県小中学校将棋大会 上級戦の部 準優勝	中2 加藤 綜一 中2 中村 紘也 中2 金田遼太郎
	文部科学大臣杯 第10回 中学校将棋団体戦 準優勝	
	第50回 全国高等学校将棋選手権大会 B級	・優勝 高1 奥 龍一郎 ・準優勝 高1 松本 頌平

個人表彰

第13回 日本情報オリンピック予選 Aランク	高1 王 允卓 中2 井出 竜鳳
第24回 日本数学オリンピック予選 合格	高2 小野田 怜依 高2 阪本 拓功 高1 日比野 陸 高1 松下 覚
第12回 日本ジュニア数学オリンピック 地区優秀賞	中2 松村 怜央 中2 森川 一磨 中2 萩谷 健人 中1 松本 侑也 中1 小川 諒

退任の先生

古城 光秋 (ふるぎ・みつあき) 昭和23年9月8日生 平成6年4月1日(国語科教諭)



吉富 孝道 (よしとみ・たかみち) 昭和23年7月16日生 昭和47年4月1日(平成25年3月31日(理科教諭))



和田 幸芳 (わだ・ゆきよし) 昭和23年6月21日生 昭和50年4月1日(平成26年3月31日(芸術・家庭・情報科非常勤教諭))



次は、聖光の入試成績が年々右肩上がりに大躍進した事です。聖光OBとして聖光出身を誇らしげに語る校友諸兄を多く見かけるようになりました。これもトマス学院長や工藤校長をはじめ諸先生並びに学校関係者の方のご努力の賜物と思えます。

編集後記

今回の校友会報は以下の広報委員会中心に作成編集しました。

委員長 茅野 誠(9期)
委員 中島 秀和(11期)
委員 花家 徹(13期)
委員 狩野 靖夫(14期)
委員 高橋英一郎(14期)
委員 伏見 靖(20期)
委員 柳田 恭平(27期)
委員 田中 崇司(28期)
委員 加賀美博之(31期)
委員 小島 勇祐(37期)

今回が私にとって最後の編集後記となります。会報でどれだけ皆さんに聖光学院の現状やOBの方々の活躍を伝えられたか反省の日々ですが、私が委員長としての思い出と言えれば何と云っても東日本大震災の件であり、その復興支援にいち早く聖光の現役生が働いてくれた記事です。

次は、聖光の入試成績が年々右肩上がりに大躍進した事です。聖光OBとして聖光出身を誇らしげに語る校友諸兄を多く見かけるようになりました。これもトマス学院長や工藤校長をはじめ諸先生並びに学校関係者の方のご努力の賜物と思えます。

現在は校友会報も委員の各方面の活躍をお伝えする事に事欠かないようになりました。しかし、高倉初代委員長や石原委員長時代の私がまだ編集委員の時、記事の材料集めに四苦八苦でした。今は編集委員も多士済々で有能なスタッフばかりです。これからは狩野新委員長の下、今以上に活発な活動を通じて皆さんにとって有意義な紙面作りがなされるものと思います。私もこれからは一会員として校友会報を楽しみにしています。会員の皆様もご期待ください。(茅野 誠)